

福知山市部活動改革検討会議 第2回会議 議事録

会議日時: 令和6年8月23日(金) 午後3時30分～午後5時

会議場所: 市役所5階第4委員会室

参加者: 別紙のとおり

会議の議題:

1. 開会あいさつ
2. 令和6年度部活動地域移行実証事業について
 - (1) 現在の進捗状況等について
 - (2) 実証方法について
3. 令和7年度以降の実証事業の種目について
 - (1) 各種目の状況等について
 - (2) 今後の進め方について
4. 部活動地域移行の基本計画策定について
 - (1) 基本理念・基本方針について
 - (2) その他
5. 広報周知について
 - (1) 舞鶴市部活動地域移行のための説明会・意見交換会について
 - (2) 児童・生徒・保護者等への周知について
6. その他
7. 閉会あいさつ

会議の記録:

1. 開会あいさつ

長積委員長は、舞鶴市で行われた部活動地域移行に関する説明会の様子を具体的に紹介することで、福知山市における地域移行の意義と方向性を示した。

- 舞鶴市の説明会は、市長も参加し、地域移行を「新しい文化・スポーツを推進するための仕組みづくり」と位置づけ、関係団体の協力を呼びかけるなど、非常に前向きな雰囲気だった。
- スポーツ団体からは、一部、学校部活動と地域クラブのどちらかを選択するような状況になることへの懸念の声もあったが、概ね協力的な姿勢だった。

- 文化団体からは、学校教育における文化活動への理解を深めるため、教員への説明機会を求めるなど、積極的な意見が出された。
- 舞鶴市では、まずスポーツ・文化団体への説明会を実施し、その後、保護者や学校関係者への説明会を行うという段階的な周知方法を採用している。

2. 令和6年度部活動地域移行実証事業について

(1) 現在の進捗状況等について

- 事務局より、令和6年度部活動地域移行実証事業の募集チラシ配布状況と応募状況について報告があった。
 - チラシは7月18日に各学校へ配布済み。
 - 8月1日現在の応募状況は、バスケットボール男子2名、女子3名、バレーボール男子6名、剣道1名、計12名。
 - サッカー、ソフトボールについては、既に実証事業が開始されているため、今回の募集には含まれていない。
 - 8月23日をもって一次募集は締め切り、以降は随時募集を受け付ける。

(2) 実証方法について

- 片山コーディネーター、西山コーディネーターより、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、剣道の各競技における実証事業の実施状況と今後の計画について報告があった。
- サッカー、ソフトボールについては、既に地域移行に向けた取り組みが進められており、合同練習会や普及活動などが実施されている。
- バスケットボール、バレーボール、剣道については、9月以降に順次実証事業が開始される予定。
- 各競技とも、指導者不足や活動場所の確保などが課題として挙げられた。

質疑応答

- 全体的に応募状況が低調であるという現状に対し、委員から懸念の声が上がった。
- チラシ配布以外の周知方法や、地域移行のメリットをより具体的に示す必要性などが指摘された。
- 特に、保護者への周知方法については、PTAを通じた情報共有の必要性などが議論された。
- 合唱については、今村委員より、各中学校の音楽科教員に協力を依頼し、生徒への周知を強化していく方針が示された。

3. 令和7年度以降の実証事業の種目について

(1) 各種目の状況等について

- ・ 片山コーディネーター、西山コーディネーターより、各種目の状況について説明。
- ・ 令和7年度以降の実証事業候補種目として、卓球、柔道、バレーボール女子、ソフトテニス、野球、陸上競技が挙げられていることが報告された。
- ・ 各競技の専門委員長へのヒアリング結果に基づき、各競技における現状と課題、地域移行に向けた方向性などが説明された。
- ・ 柔道、卓球、ソフトテニスなど、既に地域クラブ活動が活発に行われている競技においては、地域移行への期待が高いことが示唆された。

(2) 今後の進め方について

- ・ 専門委員長へのヒアリングを継続し、各競技における地域移行の具体的な方法について検討を進めることとなった。

質疑応答

- ・ 地域移行に対する競技団体側の理解を深める必要性や、競技力向上と普及活動の両立を図る必要性などが指摘された。
- ・ 特に、地域移行のビジョンや目的を明確に示し、関係者間で共有することが重要であるという意見が出された。

4. 部活動地域移行の基本計画策定について

(1) 基本理念・基本方針について

- ・ 片野コーディネーターより、基本計画策定の必要性と、策定に向けた考え方について説明があった。
- ・ 基本計画は、地域移行のビジョンや目的を明確化し、具体的な取り組みを推進するための指針となるものであることが強調された。
- ・ 福知山市独自の「福知山市モデル」を構築していく上で、基本理念・基本方針を明確にすることが重要であるとされた。
- ・ 他市の事例を参考にしながら、福知山市の実情に合った基本理念・基本方針を策定していく方針が示された。

(2) その他

- ・ 経営資源の観点から、人材、施設、財源、情報などの要素を考慮しながら、基本計画を具体化していく必要性が指摘された。

質疑応答

- ・ 基本理念・基本方針策定のスケジュールや、策定プロセスにおける委員の役割分担などが確認された。
- ・ 特に、委員から具体的な意見や提案を募り、基本理念・基本方針に反映させていくことが重要であるとされた。

5. 広報周知について

(1) 舞鶴市部活動地域移行のための説明会・意見交換会について

- ・ 事務局より、舞鶴市の説明会・意見交換会の概要について説明があった。
- ・ 舞鶴市では、地域移行に関する情報共有や意見交換の場を設けることで、関係者間の理解促進を図っていることが紹介された。

(2) 児童・生徒・保護者等への周知について

- ・ 地域移行に関する情報共有の不足が課題として指摘された。
- ・ 今後、広報誌やウェブサイト、説明会などを活用し、計画的に情報発信を強化していく方針が示された。

質疑応答

- ・ 周知方法の改善や、わかりやすい情報発信の必要性などが指摘された。
- ・ 特に、地域移行のメリットや具体的な内容を、わかりやすく伝えることが重要であるという意見が出された。
- ・ ホームページの内容充実化や、チラシ配布以外の周知方法の検討などが提案された。

6. その他

- ・ スクールバスの利用については、現状では人手不足などの理由により難しいことが報告された。
- ・ 今後、民間バス会社などを含め、代替となる移動手段を検討していく方針が示された。

7. 閉会あいさつ

- ・ 事務局間島次長より、活発な議論への感謝と、今後の部活動改革推進に向けた意気込みが語られた。

決定事項

- ・ 次回（第3回）検討会議までに、各委員は基本計画の基本理念・基本方針案に対する具体的な意見や提案をまとめ提出する。
- ・ 事務局は、各委員から提出された意見や提案を参考に、基本計画の基本理念・基本方針案を修正し、次回検討会議に提出する。
- ・ 次回検討会議の開催時期は、10月を予定するが、場合によっては9月下旬に前倒しする可能性もある。

今後の課題

- ・ 部活動地域移行に関する情報共有不足を解消し、関係者間の理解を促進する。
 - 具体的な情報発信の内容や方法、対象者を明確化する。
 - 学校現場への周知徹底を図る。
 - 保護者への情報提供方法を検討する。
 - 情報公開の充実化、説明会の実施などを検討する。

- 基本計画策定において、福知山市独自の「福山モデル」を構築する。
 - 委員からの意見や提案を積極的に取り入れ、具体的な計画に落とし込む。
 - 他市の事例を参考にしながら、福知山市の実情に合った計画を策定する。
- 経営資源の観点から、地域移行に必要な人材、施設、財源、情報などを確保する。
 - 指導者確保、活動場所の確保、財源確保、情報共有の仕組みづくりなどを具体的に検討する。